

平成28年度第2回印西市文化財審議会会議録

- 1 開催日時 平成29年3月14日（火）午後2時から午後4時まで
- 2 開催場所 印西市役所 203会議室
- 3 出席者 武藤委員（会長）、一島委員（副会長）、岡崎委員、滋賀委員、
酒井委員、西山委員、高橋委員、横山委員
- 4 欠席者 富田委員
- 5 事務局 飯島課長、鈴木副主幹、根本主任学芸員、渡邊主事補
- 6 傍聴者 0人
- 7 次 第
- 議 題 （1）平成28年度事業報告について
（2）平成29年度事業計画（案）について
- 8 報告
（1）道作1号墳の非破壊探査について
- 9 開会

事務局：平成28年度第2回印西市文化財審議会開催

配布資料の確認

印西市市民参加条例第11条の規定に基づき公開

12条、13条の規定に基づき傍聴席を設置

文化財保護条例27条により過半数を占めているので開催

課長挨拶 H29年度予算が承認され昨年より421万円増額（文化財保護調査事業）。道作1号墳の確認調査や無形民俗文化財DVD作成のため。

会議録署名・・・西山委員（名簿順。富田委員欠席のため）

会長挨拶

会長：それでは、慣例に従いまして、議事の進行をさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

議事（1）平成28年度事業報告について

議長：それでは、議題（1）について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局：はい、それではご説明させていただきます。

（内容読み上げ）。

・印西伝統芸能フェスティバルが大盛況であった。

・草深ふれあいの里「ふるさと資料室の展示事業」は、来年度より施設の一部が船穂・牧の原地域包括支援センターとなるため、草深地区

の資料紹介（民具・掩体壕関係）は、今後歴史資料センターへ移動。

事務局：1点訂正があります。第1回文化財審議会の開催場所は、市文化ホール多目的室ではなく41会議室です。訂正いたします。

議長：ただいまの説明について質疑、ご意見がございましたらお願いいたします。

委員：泉福寺薬師堂の茅葺屋根の葺き替えにいくらかかりましたか。

事務局：工事費・設計監理含め、1700万円程度です。

委員：茅葺をやってくれる業者は少なくなってきました。どちらの会社が行っているのですか？

事務局：茨城石岡にある常洋建設です。実際に工事を行っている職人は、石巻から来ています。

委員：仏像調査は、どのくらいのスパンでやっていますか。

事務局：仏像は鈴木氏の担当です。本埜地域の石造物調査は、本埜村の時平成11年ごろから行っています。月に1度の調査が細々と続いています。あと2年程度で本埜地域は終了する予定です。仏像調査については、印旛地域編は昨年度、本埜地域編はその前3年で終了しました。印西地域編は刊行済みです。仏像調査の終了の見通しはたつてはおりません。

委員：予算は大丈夫？中長期の予定はいかがですか？

事務局：本埜地域編の仏像調査については、予算が付いたので来年度刊行予定です。印旛については、調査やっとなので、1、2年後を見込んでいます。

委員：木下貝層の化石採集観察会について、採集は木下万葉公園内で行っているのですか？

事務局：公園内ではなく、大森浅間神社の近くで行っています。

委員：石造物調査は、印西は10年・20年くらい前に行いましたよね。

事務局：はい。そう聞いております。印西地域は成果がありましたが、本埜地域はまだ出ておりません。

委員：道作古墳群活用事業の企画提案型協働事業とは、こういったものですか？

事務局：市民活動推進課で所管しているもので、市民団体が事業を提案し、市と協働で行えるものか委員の審査を経て、採択されれば市の予算をつけて行えるものです。

文化班としては、小林住みよいまちづくり会の道作古墳維持管理事業と木下まち育て塾の歴史講座事業において予算をつけて行っています。

委員：最大何年行えるなどの決まりはありますか？

事務局：昨年度の審査会から採択される期間は 3 年です。あと 2 年はこのまま行うことができます。

委員：その 3 年たった先が大事ですね。

委員：ボランティア団体にはどういう形で支援を行っていますか？

事務局：現状は、協働事業を行っている木下まち育て塾 1 団体になります。他には後援をつける等です。他に団体があれば支援を考えたいです。

委員：人的な支援ですか？

事務局：まち育て塾さんの資源でやっていただいています。金銭的支援を行っているという状況です。

委員：年間いくらですか？

事務局：36 万円程度です。40 万には届かないと思います。こちらも提案型協働事業として採択してもらっています。

委員：木下まち育て塾のメンバーは何人くらいですか？

事務局：大体 20 人くらいです。

委員：登録されているボランティア団体は、いくつありますか？

事務局：補助を出している団体は木下まち育て塾の 1 団体のみです。また、後援を出している団体がありますが、具体的な数は把握していません。文化財関係でいえば、ふるさと案内人協会さんがいます。後援をつけていますが、金銭的・人的な補助は出しておりません。

議長：他になにか質疑等ありますでしょうか。……無いようですので、議題（1）平成 28 年度事業報告について、ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

議長：ありがとうございます。全員挙手と言うことで議題（1）平成 28 年度事業報告については了承されました。

議題（2）平成 29 年度事業計画（案）について

議長：それでは続きまして議題（2）について事務局より説明をお願いいたします。

事務局：それでは、ご説明いたします。

（内容読み上げ）

文化財防災訓練は、1 月 26 日前後を予定しています。実施会場は宝珠院観音堂を管理している一島先生とは、また詳しく打合せします。

事務局：加えてお知らせがあります。資料には書いていないのですが、木下貝層はぎ取りの件で、予算に計上しましたが見送られてしまいましたの

で、29年度は行えません。また、千葉大学小原先生からいただいた貝化石の史料の整理を行いたいと思います。歴史資料センターで展示されているような形で、見られるように整理したいと思います。岡崎委員と相談しながら小原先生がお元気なうちに行いたいと考えています。予算は取れていませんが、整理していくことを来年度考えていきたいと思います。

委員：小原先生の史料は、大変貴重なもので市の財産となると思います。整理には専門家が必要になると思われます。また、データの記録だけでなく、小原先生しか知らないこともあると思うので、なるべく早めに行うことが必要と思われます。貝層のはぎ取りもですが、時期を考えたら同時に進めていった方がいいと思います。

事務局：文化財の維持管理について、今まで職員で行っていましたが、草が生えている等市民から連絡が来ることがありました。来年度は、再任用職員に週3日程度文化財の維持管理をお願いする予定です。具体的には、掩体壕や武西の百庚申の草刈り、史料や民具の整理等です。

委員：野馬土手等の草刈りをやるのですか？

事務局：そうです。週3日程度です。都市整備課が管理している公園でも、再任用職員が草刈り・施設点検を行っています。週3日公用車に草刈り機械等を積んで、車で回ってもらおうと思っています。

委員：再任用職員で大丈夫ですか？土方仕事ですよ。

事務局：都市整備課での例もあり、田んぼをやっている方なので大丈夫です。

委員：永治のパチンコ屋のところに遺跡がありますという看板を立てられないですか？百庚申がありますが、みんな通り過ぎてしまっています。

事務局：現在、市の指文化財のところには、説明の看板を立てています。

委員：やれるときにやっておかないとなくなってしまうですよ。

事務局：遺跡の範囲には指定されていますので、勝手に開発はできないので大丈夫です。

委員：無形民俗文化財のDVDを作成するとのことですが、どこに置く予定ですか？

事務局：県の文化財課、印旛歴史資料館、市内の図書館、小中学校です。近隣の教育委員会にも配布を予定しています。

委員：DVDを活用しやすくしてほしいと思います。家でダビング等できるのでしょうか。

事務局：保護コードがありますので、ダビング等は難しいと思います。しかし、幅広く活用していただきたいと思っています。具体的にはどのような決まりにするかは決まっていません。本来は著作権等などがあり、関

係機関に了承を得なくてはなりません。制限についてはできるだけかけないようにしたいと思います。

委員：道作一号墳の確認調査については、どの程度の、どのような調査を行いますか？

事務局：次年度の予定についてのところで説明いたします。

委員：掩体壕の活用についてはどうでしょうか？

事務局：今のところ緑地ということで計画できるよう進めています。草が多くなってしまうことがありましたが、通年見てもらえるようにしたいと思っています。具体的な内容・活用はまだ決まっています。

事務局：ぜひよい活用法を考えてください。

委員：12月の印西伝統芸能フェスティバルよかったです。詳しい解説付きであるといいですね。定期的にあるといいなと思いました。25周年などで、毎年は大変だと思うので。

委員：何年か前に大森小学校で県の芸能大会がありましたね。

事務局：おそらく40年ほど前ですね。20年前、印西市になる時にも、文化ホールで行っています。20年ごとに行っている状況になります。

委員：我孫子市では郷土芸能等を毎年やっていた時期がありました。

委員：県は5年ごとですよね。

事務局：はい。県は地区で持ち回りで行っている事業があります。毎年は難しいですが、定期的に行ってほしいとのご意見をいただきました。検討していきたいと思っています。

委員：フェスティバルの保存会さんのインタビューを聞きましたら、後継者問題がありますね。このようなフェスティバルを機会にして、盛り上がりができるのではないですか？20年に1度では、子どもたちが大きくなってしまうので、10年に1度ではいかがですか？そんな気がします。

事務局：ありがとうございます。検討させていただきます。その他の事案として、武西の六座念仏指定解除の流れがあります。平成20年度から実施がないものです。一島先生とは、先日県職員も含めた打合せをさせていただきました。スケジュール的には来年度の県の審議会で決定する見込みです。

委員：昔は印西のほとんどの地域にこのような念仏がありました。武西のものは、農耕の時期に合わせて行っていました。子どもたちに興味を持ってもらおうと船穂小学校で行ったりもしましたが、踊り手がいなく、休止となってしまいました。本当に残念に思います。

委員：永治小学校が廃校となってしまいました。文科省から伝統文化を学ぶ

学校として指定されていまして。毎年神楽の発表をやっていきましたが、今後はなくなってしまうでしょう。伝統芸能を伝える活動が、宗教に係るということで、教育の場に相応しくないという意見もあります。伝統を守るという立場で、文化を教育の場で伝えるのも大切だと思います。

事務局：学校の先生へのお願いとなるとと思いますが、教材として先ほどの DVD 等をぜひ使ってもらいたいと思います。社会で使用するの「私たちの印西市」という副読本もありますので、民俗文化財に限らず、市内にある建造物等の文化財の普及に努めていきたいと思います。

委員：地域の生活の中に宗教や文化があり、切っても切れない関係でした。残したい文化ならば、伝承者を長男に限るなどこだわらず、遺す努力をしなければならないと思います。地域の外の人でも興味のある外の人へ。千葉ニュータウンの人口は増えていて、越してきたところの伝統文化に興味のある人もいます。お互いに受け入れられればいいと思います。

委員：長男でなければいけないというのはむしろ、跡取りになって土地に残ってほしいからです。遺してくれる人が、どういう人かというところだとも思います。現在の状況は、非常に厳しいと思います。

委員：竜腹寺のところの辻切りはまだありますか？

委員：はい。あると思います。

委員：松崎の梵天はいかがですか。

委員：今は彼岸の時期に行っています。

委員：これらのような伝統的のものがどんどん無くなっていってしまうような気がします。今は最後のチャンスだと思います。いろんなものを記録していかなければと思います。

議長：他になにか質疑等ありますでしょうか。……無いようですので、議題（２）平成 29 年度事業計画（案）について、ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

議長：全員挙手ということで承認されました。
（案）の部分を抹消しておいてください。

議長：それでは続きまして（１）道作 1 号墳の非破壊調査の報告について事務局より説明をお願いいたします。

事務局：それでは説明させていただきます。

(資料の説明)

29年度は前方部主体部と考えられるC地点を掘削する予定。主体部を探す。

議長：ただいまの説明について質疑、ご意見がございましたらお願いいたします。

委員：磁気探査について、貝層でクジラの骨を調査した時も同じ探査を行いました。しかし貝の反射は取れましたが骨か何かが判別できませんでした。金属、石室、はにわ等でどの程度反射が違うのか知りたいので、ぜひトレンチを掘る時に同席したいのですが。

事務局：はい。ぜひよろしく願いいたします。調査時期は未定ですので、後日決まりましたら先生方にご連絡させていただきます。調査の成果によりましては、一般の方の見学会も検討中です。次回審議会以降に調査となると思いますので、具体的に説明させていただければと思います。

議長：その他になにかご意見ありますでしょうか。

委員：C地点の主体部を掘ることについて、主体部とみられるところまで1.5mありますが、あいまいな主体部を調べるには、かなり墳丘を壊さなければならぬのでは？

事務局：深度などは最近報告を受け、思ったより深いという印象です。探査の結果で主軸を設定したので、主軸に沿ってベルトを作り、ベルトを残したまま表土を剥いで墳丘を少しずつ下げていくという方法を、茨城大学の田中裕先生からご提案を受けています。すぐ下げるのは危ないので、少しずつ実施します。C地点が盗掘坑であれば、そこから土を取って確認していきたいです。調査期間は1カ月を予定していますが、1.5mには到達しない可能性もあります。また墳頂部からはにわがたくさん出ているので、はにわの列が出てしまうとそこで調査は一度終わりとなります。

委員：それならば（他の主体部候補である）A地点を先に調査した方がよいのではないですか？

事務局：Aの方が主の被葬者という想定で、前方部（C地点）からとの考えで予定をしていました。しかし深度が深いという結果が出ているので、土量を考えるとAの方がいいのかもしれない。

委員：現地で深度の伝播速度を調べることはしていますか？

事務局：おそらく実施していませんが、関東ローム層であるという想定で行っ

ています。

委員：それならば、また深度は変わるかもしれません。

事務局：調査方法については、田中先生の指示を受けながら遺跡をなるべく壊さないよう慎重に行っていきたいと思います。また画像の解析には経験と知識が必要になり、東工大の先生になぜ主体部といえるのか聞きましたが、専門家でなければわからないところだそうです。

委員：できれば調査の現場を見たいですね。

議長：他にご質問はありますか。…ございませんようなので、すべての議事を終了させていただきます。以上をもちまして、議長の任を解かせていただきたいと思います。ありがとうございました。長時間にわたりまして、慎重審議、ありがとうございました。

事務局：その他について事務局からも特にございませんので、以上をもちまして平成 28 年度第 2 回文化財審議会を閉会いたします。

閉会

平成 28 年度第 2 回印西市文化財審議会の会議録は事実と相違ないので、当審議会はこれを承認する。

平成 29 年 3 月 31 日

印西市文化財審議委員
西山 純子 印